

# 始めましょう 家庭で読書

いい本に出会うことは、  
いい人に出会うことに  
似ている。



一番すてきな本は、  
お父さん・お母さんの  
声で読む本だ。



子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造性を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものです

【子どもの読書活動の推進に関する法律の基本理念】

本を読む子を育てるためには、小さな時から本に親しむことが大切です。

感動的な一冊の本は、子どもの感性や情緒、想像力をはぐくみ、読書習慣を身につけるきっかけともなります。

始めましょう！ 家庭で読書！



# 親子読書のすすめ

親子のぬくもりを感じながら優れた絵本に接し、一緒に共感し合うひときは、子どもの感性や心を豊かにする貴重な時間になります。

「親子読書」は、子どもにとってうれしい時間の一つです。親子(家族)のふれあいを通して読書のすばらしさを次の世代に伝えていく、そんな「親子読書」を、始めてみませんか。



## 小学校低学年くらいまでは…

子どもたちに読書の楽しさを伝えるには、「読み聞かせ」がよいと言われています。絵本や物語はもちろん、昔話、なぞなぞ、ことばあそびの本など、多くのジャンルから本を選び、子どもの世界を広げてあげましょう。

### 親子読書の例 ~その1~

- 子どもを膝の上に乗せて一緒に絵本を読みます
- 眠る時に子どもの枕元でおはなしを読み聞かせます
- 子どもと一緒に声を出してことば遊びの本を楽しみます
- 地域の読み聞かせイベントに子どもと一緒に参加します
- 子どもと一緒に本を見ながら、料理を作ったり工作をしたりします

チェックしてみましょう



## 小学校中学年以上になったら…

読み物や物語の楽しさを味わったり、科学や社会の本への興味を深めたりするとよいと言われています。優しさや思いやりなどの豊かな心や、知る楽しさなどの知的な好奇心が育ってゆくでしょう。

また、周りの大人が読書を楽しむ姿を見せることも大切です。子どもと一緒に図書館や書店に行き、本を選んだりする姿を見せてあげてください。家族みんなで読書を楽しむ時間をもてるといいですね。

チェックしてみましょう

### 親子読書の例 ~その2~

- 子どもと一緒に図書館や書店に出かけます
- 1冊の本をそれぞれが読み、家族で感想を語り合います
- 家族で「読書の時間」を設けて、その時間にそれぞれが好きな本を読みます(ダウンメディアデーやノーメディアデーに合わせて、取り組んでみましょう)

